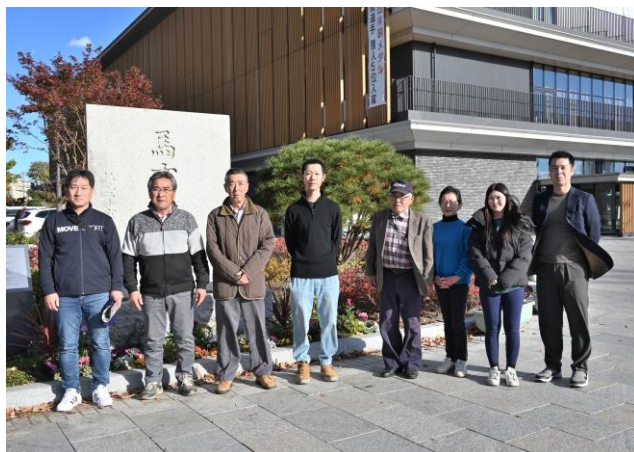


○ジャパンブリーディングホースショー

去る12月6日～8日、JRA馬事公苑で開催された障害馬術大会第16回JRAジャパンブリーディングホースショーに16頭の遠野馬(県外生産馬を含む)が出場、4つの競技で優勝しました。メイン競技のジャパンブリーディングカップ(120cm)では、第1回のオンブレ・サーティーン、第5回のハリ・ベイ、第



応援に駆け付けたチーム遠野

10回のフリーデンティアモに続き、ハヤテ・ペガサスが遠野馬4回目の優勝を果たしました。各競技の優勝馬をご紹介します。

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.98

2025年1月1日



第13競技 Japan Breeding Cup(120cm)優勝 ハヤテ・ペガサス(セン13) 鯨岡啓輔選手 ペガサス乗馬クラブ



父ティノ 母アベリアヴァリパール 白岩與一郎氏生産



第7競技優勝 ひなざくら(牝14)

中島連選手 中島トニアシュタル

父フリーデンスタート 母グイクトール5 菊池栄喜氏生産



第12競技 大浦牧場カップ優勝 ヒナギク(牝12)

松平貴文選手 ホーストピア平塚

父フリーデンスタート 母グイクトール5 菊池栄喜氏生産



第11競技 リトカップ優勝 マディーライアン(牝11)

鯨岡啓輔選手 ペガサス乗馬クラブ

父マディオン 母リゴライアン 菊池栄喜氏生産